

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 73 号

<http://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 平成 29 年 4 月 25 日



(寺庭撮影)

桜おうか花微笑みしょうの春

花みれば そのいはれとはなけれども

心のうちぞ苦しかりける

吉野山 梢の花を見し日より

心は身にも添はずなりにき

ねがはくは 花の下にて春死なん

そのきさらぎのもち月の頃

(西行)

平安後期の歌人、西行法師は、桜の花には特別な感情を抱いていたようです。自ら詠んだ歌のとおり、吉野にて入滅しました。花の下とは、桜といわれています。桜の花に包まれた穏やかな気持ちで死にたいという願いなのでしょうか。

花の中でも特に桜には、日本人の心を浮き立たせる何かがあるようです。厳しい冬を乗り越えた安堵感でしょうか。さらに、「散る」という無常に心惹かれるのかもしれない。盛りの人生も、やがては「散る」という真実が歌に詠み込まれていると感じます。

春を迎えた幸せは 先ず祖先への感謝から

彼岸中日に法要を営み、お斎をいただいて先祖供養

彼岸中日となる3月20日、お寺では彼岸法要を営みました。朝8時半から台所では当

番さんらが、手

際良くお昼の弁当作りに励みました。

この日は一時の大雪も昔のことのように思われる穏やかな天候で、お参りいただく皆さんの足取りも何となく軽やかに思えました。

午前11時、30人余りの皆さんと共に、彼岸法要を勤めました。尊い命をいただいたご先祖様へ、今在る暮らしと命に感謝申し上げます。

法要が終わればお斎です。仏さまにお供えた当番さん手作りのお弁当を、今度は私たちがいただきます。今年からは、長机にイスに腰掛けての食事です。総代会で年輩の方々にはイスの方が良い



▲参拝者皆さんと一緒に彼岸法要を営みました＝3月20日



▲今年からイスに腰掛けてお斎をいただきます

ということになり、評議員総会でご承認いただいて護持会の特別会計で購入していただきました。これで、皆さんも気軽に参りしていただくことができると感謝しています。

斎座の後は、妙心寺派が進める「第二の人生」プロジェクトを取り上げた「寺は蘇るか」シルバー世代が挑む地域再生を鑑賞しました。これは、日本テレビ系で放送されたテレビ番組で、録画したものをプロジェクトで映しました。過疎化がますます進む中、田舎の寺院は存続の危機にあります。松禪寺もその中にあります。次の世代に、いかに繋げていくか、大きな課題を背負っています。寺の灯りを絶やさず、そこから始まる地域再生の試みに、皆さんも熱心に見入っておられました。

稲や
かな日

和のもと、彼岸中日はのんびりとした時間が流れていました。



▲当番さん手作りの彼岸のお斎

春の雨に心も潤う定期巡教

『おかげさま』 三宝の恩く仏法ありがたし

20日の彼岸中日とは打って変わり、翌21日は雨降りでした。この日は、彼岸会に続き、午前10時より春季定期巡教を開教しました。今年の布教師さんは、福岡市からお越しいただいた勝楽寺ご住職・青井直信師です。



▲布教師・青井直信師の法話に耳を傾ける皆さん＝3月21日

今年のテーマは、「おかげさま」三宝の恩く仏法ありがたしです。約90分にわたって、「仏・宝・僧」の三宝について説いていただきました。玄奘三蔵法師の弟子となった孫悟空、猪八戒、沙悟浄を「貪瞋痴」という根本的な煩惱に例えながら、煩惱のない世界も人

もないなか、時には荒波にもまれ、明日の暮らしの保障もない私たちが暮らすこの世界で、いかにぶれずに一方に片寄らない中正の道を歩むか、その努力が必要なることをわかりやすく話していただきました。平日でもあり約15名の参加でしたが、「良い法話でした」と笑顔で帰っていただきました。雨降りで足元も悪い中、お参りいただいた方にはお礼申し上げます。春の恵みの法雨が、皆さん方の心を潤したことに喜んでおります。

和尚のつぶやき

早めのヘッドライト点灯を

お寺と京都の往復には、自動車を使っています。その運転中にいつも思うのですが、トンネルの中や夕暮れ時にライトを点灯しない人がいるのです。

周りが暗くなりつつあるのに、何故ライトを灯さないのか、ひよつとして自分はずが悪いからと、自慢しているのですか。

日本自動車連盟は「薄暮時はものが見えにくくなり、見落としを原因とする交通事故が多発する時間帯」とし、「ヘッドライトを点灯して自分の存在を知らせることが事故防止に有効」と、早めの点灯を勧めて

います。

目が良いと自慢している人は、自分さえ見えてりや良いという誠に身勝手な考えです。自分の存在を他に知らせるという、ヘッドライトには他者をいたわる大切な役目があるのです。また、最近の自動車には周囲が暗くなると自動的にヘッドライトが点灯する「オートライト」機能が付いているのに、これまたわざわざこの機能をオフにしているようです。

早めのヘッドライト点灯は恥ずかしいですか、格好悪いですか？



写経のご案内

妙心寺派宗務本所花園会本部では、平成29年に迎える白隠禪師^{はくいんぜんじ}250年遠諱^{おんき}にあたり、「白隠禪師坐禅和讃^{はくいんぜんじざんわさん}」の写経を檀信徒皆さまにお願いしています。

この写経は遠諱を契機として更に信心を深め、白隠禪師の深い恩に報いるとともに、人類の平和、社会浄化、先亡の冥福、諸願成就等の諸祈願を目的に実施するものです。

何卒よろしくお願い申し上げます。

記

5月28日＝境内掃除のお願い

一昨年に引き続き、境内掃除のご協力をお願いいたします。今年第1回目を次のとおり行います。

日 時 5月28日(日)

午前8時より約2時間

作業内容 境内周辺、霊園及び駐車場周辺の草刈り、境内の草取り等

持 参 刈払機、松葉かきなど

参加対象 清滝、本城、柴地、大貝、佐田、石原、久畑のそれぞれの評議員と協力者1名を加えた計2名のご協力をお願いします。

今年も桜をライトアップしました



▲上記3枚の写真撮影：寺庭

写経期間…平成30年3月31日まで

配布内容…「白隠禪師坐禅和讃」「般若心経」の2巻の写経を納めてくだされば幸いです。

志納金…1巻につき1千円。「白隠禪師坐禅和讃」「般若心経」の両方を納経していただく、計2千円の志納をお願いします。

納経料1千円は、7百円を花園会本部へ、残りの3百円は松禪寺に納めてそれぞれご供養いたします。花園会本部からは「納経之証」が送付されます。

期間は十分にありますので、ゆとりをもって写経してください。どなたが写経されても構いません。



ら、やはり今年は寒くて桜の開花も遅れたようです。雨と風に晒されながらも、春の到来を知らせています。

「春は桜花に入りて禅庭に満つ」

久し振りの大雪でしたが、本堂から落ちた雪の塊も、4月4日頃には消えてなくなりしました。変わって境内の桜が咲き始めました。10日にはライトアップを始めました。昨年は5日からでしたか